

平成21（2009）年度

# 熊本大学大学院法曹養成研究科

## 第1次選抜

### (小論文試験問題)

試験時間 120分

頁・・・1～3

#### 注意事項

1. 試験開始の合図のあるまで、この問題用紙は開いてはいけません。
2. 試験開始後ただちに、問題用紙（この表紙を含めて4枚）、解答用紙（3枚）、下書き用紙（3枚）が揃っていることを確認してください。
3. 解答用紙のすべて（3枚）に受験番号を記入してください。なお、氏名は記入しないでください。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入してください。ホッチキスは外さないでください。
5. 配布された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後、問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

【課題文1】から【課題文3】を読み、下記の問いに答えなさい。なお、いずれも法的知識を問うものではありません。

問1 荒瀬ダムの存廃をめぐる争点について300字以内でまとめなさい。

問2 荒瀬ダムの存廃についてのあなたの意見を800字以上1000字以内で述べなさい。なお、課題文において示された見解のうち、あなたの意見と異なる見解に対する批判も行うこと。

【課題文1】

(この部分につきましては、著作権の問題により、公開できません)

[熊日・RKK緊急世論調査に関する新聞報道]

(出典：熊本日日新聞平成20年(2008年)9月17日記事 原文縦書き。なお、見出しを省略し、数字はアラビア数字で表記している。)

【課題文2】

(この部分につきましては、著作権の問題により、公開できません)

[県営荒瀬ダムの撤去問題に対する潮谷義子知事(当時)の県議会における答弁にかかる新聞報道]

(出典：熊本日日新聞平成14年(2002年)12月10日夕刊記事 原文縦書き。なお、見出しを省略し、数字はアラビア数字で表記している。)

【課題文3】

(この部分につきましては、著作権の問題により、公開できません)

[荒瀬ダム撤去見直しに関する蒲島郁夫知事の発言にかかる新聞報道]

(出典：朝日新聞2008年(平成20年)6月5日記事 原文縦書き。なお、見出しを省略し、数字はアラビア数字で表記している。)